

## 葬儀の現場から ~二人だけの大切な時間~

大切なご家族との突然のお別れは、誰しもが冷静に受け止めることはできないものです。その悲しみは、言葉にすることが難しく、一人一人が異なっており、他の誰かと全ての気持ちを共有することが難しい部分があると思います。今回は、以前私が担当させていただいたご家族のお話です。

打ち合わせの際に娘様が「私がお母様にしてあげられることがあったのでは、私のせいで…」と後悔の言葉をつぶやかれました。同席されたお父様やご親族様はその言葉を聞いて「そんなことはない、精一杯の看病をしていたよ」と声を掛けたのですが、娘様はお母様の枕もとで謝罪の言葉を繰り返していました。その姿を目の当たりにし、自分自身も同世代の子を持つ親として他人事とは思えず、何とか少しでも悲しみを和らげることはできないのだろうかと考えた時、納棺の儀の後に、一人一人個別に時間を設けて、故人様と一対一で最後の語り合いの場を設けようと考えました。今感じている様々な気持ちや本当の思いを故人様と二人きりになることで語り合うことができるのではないかと。

個別にお別れを希望された方は娘様を含め何名かいらっしゃいました。他の方には控室から退出をお願いし、時間の制限を設けず故人様と二人きり、思い思いに過ごしていただきました。一人一人お別れの時間は違うものの、故人様だけに伝えたい思いを伝えることができたのではないのでしょうか。出棺の際に娘様がお母様へ向けた手紙を読まれました。お母様への思いが伝わっており、その中には前向きな言葉もありました。故人様が多くの方に愛され、そして娘様も愛されていたのだと感じた時間でした。

葬儀終了後、ご家族の方から「娘の気持ちに寄り添って頂いたこと、言葉に表すことが出来なくて感謝しております。共に共感下さり有難うございます」とのお言葉をいただきました。娘様からも「伊藤さん有難うございます。私と母だけの大切な時間をありがとう」と繰り返しお礼を述べられ、その顔には少しですが笑顔をのぞかせていました。

ご縁とは目に見えないものです。何事にも繋がりがあるといふ大きな意味と自身の存在意義を与えて頂きました。



伊藤寿浩

## スタッフコラム

私たちが新型コロナウイルスの脅威にさらされてはや1年。日常生活でも徹底した感染予防対策に三密の回避が叫ばれ、葬儀のありようも密を避けての「家族葬」「リモート葬」へと様変わりしました。そんな折、これからの葬儀の形、人と人のご縁の形をあらためて考えさせられたご当様との出会いがありましたのでお話をさせていただきます。

亡くなられたのは70代の男性で、昨日までお元気に過ごされていた中での急逝でした。男性に子供はおらず、奥様との2人暮らしだったのですが、あまりに突然の事で奥様は酷く混乱され、ドリーマーへの一報もご夫婦の古くからの友人が代わりに連絡をくださりました。

ご葬儀の打ち合わせに入りお話を伺うと、ご親戚は皆県外にあり、緊急事態宣言下での移動を控える為こちらにはおいでにならないとの事でした。その為、見送ってあげられるのは残された奥様ただ一人です。しかしながら奥様は突然のことで記憶にも混乱が見られ、ご葬儀に際しての手続きや段取りを進めていくのも困難な状況でした。そんな状況を見かね、一報をくださったご友人をはじめ、ご近所に住む友人数名が連携を取り、葬儀の打ち合わせから法要の段取りまで、奥様に付きっきりでサポートをしてくださったのです。「遠くの親戚より近くの他人とはよく言ったものだけど、私たちは若い頃から職場も自宅も一緒に、今の地区に家を建てて移り住む時も一緒に移り、家族同然の付き合いをして来たのよ。」友人の一人がそう話して下さいましたが、お通夜やご葬儀にも家族同然のご友人方が集われ、古い思い出話を交わり、最期まで故人様にお声掛けを下さって温かなお見送りとなりました。

いかなる非常事態に見舞われようと、人生100年と言われる時代。配偶者や家族を看取った後、人生をどのように歩みどのように送りたいか？残していく大切な人にどう生きてほしいか？その人が最期までその人らしく居られるように、戸籍や血縁、肩書を越えて、目の前にあるご縁を確かな絆として育んでいく、それが今の時代を生きる私たちのテーマなのかもしれません。



伊藤沙由貴

## 樹木葬

昨年11月のまほろば第80号にてご紹介させていただきました「樹木葬」ですが、皆様からの反響も多く、お問合せや現地への見学案内もさせていただいております。

「樹木葬」のことを初めてお聞きになる方もいらっしゃるかもしれませんので簡単にご説明させていただきますと、墓石という形にとらわれず綺麗なお花が咲く樹木の下に埋葬する方法で、

- ① 継承者・管理費も不要
- ② 宗旨・宗派を問わない
- ③ 安価
- ④ いつでもお墓参りも可能



…という特徴があるお墓の形です。墓地公園は小高い丘の上であり、天気の良い日には石鎚山も綺麗に見渡せる場所にあります。墓地というどうしても暗いイメージになりがちですが、そういった場所にあるので明るい雰囲気になっています。

現在はコロナ禍の影響でイベントは自粛しておりますが、それ以前には墓地公園といえど「詩の朗読会」の開催や西条の花火大会の日に合わせて「風の送り火」と題して竹筒に献灯を灯してのライトアップイベントなども開催されておりました。

まだまだコロナ禍の影響でイベント開催も難しい状況が続きますが、春の風を感じるこの季節に、丘の上の気持ちの良い景色を体感しに来られてみてはいかがでしょうか。お気軽にお問い合わせください。



戸田直記

**お問い合わせ・見学頂いた方 全員に**  
ボックスティッシュ 5箱セットをプレゼント!

さらにご購入者には  
Ramie (9折) 特典  
旅行割引券 10,000円 特典

問い合わせ先: 販売代理  
ドリーマー新居浜葬祭館  
☎0120-44-5880

いつでもご案内致します。  
興味のある方は一度ご連絡をお願いいたします。

## ドリーマー社員大募集!!



スマホが  
単応が  
募ら



お仕事をお考えの方!! 私たちと一緒に働きましょう!! 未経験から始めたスタッフがほとんどです。知識経験がなくてもマンツーマン指導でしっかりと仕事を覚えることが出来る環境です。ご連絡をお待ちしております。

**【正社員】 葬祭部** 基本給 187,000円~293,000円(その他諸手当あり)  
(休日/月7日、有給あり、賞与年2回、社保完備)

**【葬祭献茶スタッフ】** 時給 1,000円~1,200円(研修期間有り)  
セレモニーにおける会館でのお飲み物のお配りや、式場のご案内など接客が主な仕事です。

**まずはお電話を!!**

募集に関するお問い合わせは  
**0897-35-1110**  
担当 戸田

まほろば

3月

令和3年

第84号

人と人、心と心。  
ご縁をつないで62年。  
52th  
SINCE 1966  
Dreams cooperation



株式会社ドリーマー  
ご葬儀かわら版

☎0120  
44-5880